

# 重要センテンス

...THANK YOU FOR LISTENING!!!!

- ① 知識基盤社会・グローバル社会といわれる昨今，社会科の学習には単に「知識の形成」を越えて，思考力や判断力，市民性，社会参加力といった、いわば「見えない能力の形成」という観点が必要とされている(p.26)
- ② 受験と学習を分けて考える姿勢や、授業で得た社会科で大切だと考える事柄が結果的に受験にも活かせることができるなどの考え方を持っていることが示された。(p.29)
- ③ 子どもの発言に対して実際に「なぜ」と問い返すことで、「理由や背景を踏まえることの重要性」を子どもたちに含ませている(p.32)
- ④ 意見を述べた時に対する「なるほど」という肯定が，子どもたちにとっては暗にそうした行為の重要性を感じ取らせるものとなっている(p.32)
- ⑤ 従来の社会科教育研究ではこうした社会科の重要な学びを、「単元」というレベルで実現させようとしていた。(p.33)
- ⑥ 教師は自身の社会科における教育目標を，単元や授業のレベルで暗示的に入れ込むだけでなく、「学習活動」や「言葉がけ」のレベルにも意識的に入れ込むこと。(p.35)
- ⑦ 自身の社会科授業だけでなく、学校カリキュラムとしての教育目標との一致をはかること。(p.35)